

エステのお仕事を通じて、女性の「美と癒やし」に携わると同時に、女性の真の姿を見せていただくことが多く、たくさんの心のお声をお聞きする機会があります。

女性として生まれて。

命を生み出す能力、母性が備わる女性だからこそともいえる、不安や葛藤が多くあるように思います。

恋愛、結婚、出産、子育て、

夫婦の在り方、親子の関わり、嫁姑問題……。

自分の人生に疑問を抱いてしまうほど、心が疲れてしまうことがあるかもしれません。

私自身、「癒し」をテーマに多くの女性と触れ合いながらも、決して順風満帆な人生を送ってきたわけではありませんでした。

私は、母との関係をうまく築けず、十五歳の時に一人で生きていくと決心し両親から自立しました。

居場所と安らぎを求めて、温かい家庭にあこがれ、二十一歳で結婚し、三人の子供に恵まれましたが、三十四歳で離婚。

娘の不登校、自傷行為、実父の死、実母との歪んだ関係、絶縁にいたるまで様々なことを経験しました。人間不信、対人恐怖、自律神経失調症が理由で精神科のお世話にもなったこともありました。

山積みの問題の解決策を見出せないまま生活に追われる中、子宮頸がんを患いました。

治療後、手術の後遺症に悩まされ、誰にも頼れない環境で

「何をしてもうまくいかない」

「がんばっても、がんばっても」

「がんばれば、がんばるほど」

追い討ちをかけるようにふりかかる苦難。

先が見えないことへの不安。

委ねる先のない孤独と絶望感。

生きること疲れ、希望をもてず、終わりの無いトンネルの中にいるような、暗い闇を走り続けていました。

常に、生まれてきた意味を探り続け、もがいていた私が、暗いトンネルから抜け出し、「生きる」ということをシンプルに楽しめるようになった軌跡。

幼少のころから抱えていた孤独感と自己否定感は、実母との関係からでした。

その根源を払拭できた今、何がおこつても受け止め、乗り越えてゆけるという自信になりました。

立ち直れないほどの悲しみや痛み、悩みに直面していませんか？

「トンネルの出口は必ずみつかる」

私の経験が、同じような想いで迷路に迷い込んでいる誰かのために、少しでもお役にたてますように。